

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：健康保険課 シートNo：16 作成日：2024/2/16

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	1生涯にわたり市民の健康を守り、育む	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法及び介護保険法が令和2年4月1日に改正され、保健事業と介護予防を一体的に行うことが示されました。後期高齢者医療の保険者である茨城県後期高齢者医療広域連合から委託を受け、令和5年度より、健康保険課、保健推進課及び幸せ長寿課が連携し事業を開始しました。健康状態不明者への受診勧奨や、高血圧症予防等を目的とした健康教育を行っております。	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業は、各自治体が抱える健康課題を分析し、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチについて、それぞれ選択した事業を実施することで、健康寿命の延伸や、生活習慣病等の重症化予防などを目的とします。当市では、県平均に対し健診受診率が低く、高血圧性疾患の患者数が多いことから、令和5年度は受診等のない健康状態不明者対策及び健康教育を行っております。
	施策	1保健		
	施策内容	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施		
	その他、根拠法令及び分野別計画	高齢者の医療の確保に関する法律		
	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業		

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	民生費
	項	社会福祉費
	目	老人福祉費
	事業	後期高齢者医療経費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
健康状態不明者対策（受診勧奨・レセプト再確認等）	健康状態不明者	1回	1回	106人	106人
健康教育・健康相談	介護予防教室への参加者	9回	9回	76人	80人

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
後期高齢者健診受診率	15.6%	16.0%
健康教育・健康相談の参加者数	76人	80人

⑥ 点検

改善の余地							今後の方向性	
□	コスト	■	活動	□	成果	□	その他	ハイリスクアプローチについては、健康状態不明者に対して、調査票やレセプトの再確認により受診状況の把握や勧奨を行い、必要に応じて電話連絡や家庭訪問を行いながら、事業を継続する見込みです。ポピュレーションアプローチについては、現在は65歳以上を対象とした介護予防教室を通いの場として活用し、健康教育等を行っておりますが、生活習慣病の重症化予防のため、若い世代に対する健康教育を視野に入れつつ事業を実施します。
業務の振り返り								
今年度より開始した高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業は、介護予防教室等の既存事業のノウハウを活かしつつ、当市の健康課題に基づき実施することができました。今後も、国や後期高齢者医療広域連合の方針を踏まえながら、引き続き健康課題を分析し事業を実施します。								

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
後期高齢者健診受診率	15.6%	18.0%
健康教育・健康相談の参加者数（累計）	76人	400人